

Documentary Film



グループ現代作品

監督: 寺崎みずほ

撮影: 大久保千津奈(JSC)

録音: 姫井信二

編集: 遠山慎二

プロデューサー: 川井田博幸

出演: 佐藤忠男、秦早穂子、

イム・ゴンテク、

シャージ・N・カルンはか

製作・配給: グループ現代

2025年/日本/98分/

カラー/DCP/ステレオ

©GROUP GENDAI FILMS CO., LTD

佐藤忠男写真: ©朝日新聞社

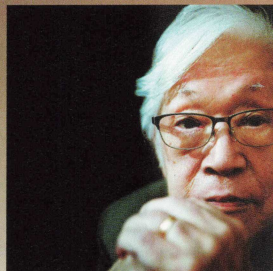
佐藤忠男、 映画の旅

さあ、映画評論家・佐藤忠男の“たからもの”を
探し求める旅に出かけよう

映画批評に人生をささげ、
映画によるアジアの解放を
夢見た男の物語。



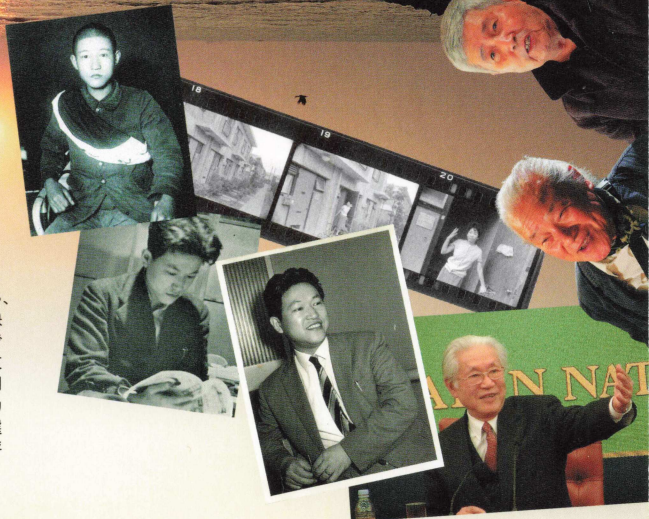
佐藤が学長を務めた日本映画学校（現日本映画大学）で教えずであった寺崎みずほが、カメラを手に2019年より密着。少年期の戦争経験、映画を通して受けたカルチャーショック、映画への憧れ、映画人生の長い道のりとともに歩いた最愛の妻・久子との出会い。そして1万本を優に超す映画を鑑賞した彼が『東京物語』と比肩するくらい世界で一番好きな映画』と言い残した1本のインド映画『魔法使いのおじいさん』への想い……韓国映画界の巨匠イム・グォンテク監督や韓国ニューウェーブを代表するイ・ジャンホ監督をはじめ、親交のあったアジアの映画関係者の証言から人物像を紐解くとともに、佐藤の“たからもの”を探しに、韓国、そして南インドのケーララ州へと旅に出た。生涯、一途に映画を愛し続けた映画の伝道師が私たちに残したメッセージとは？



佐藤忠男 SATO TADAO

1930年、新潟市生まれ。戦時中、予科練の訓練生として敗戦を迎える。鉄工所や電電公社などで働く傍ら、新潟市立工業高校定時制を卒業。合間に読書や映画に明け暮れ、映画雑誌に意欲的に投稿、24歳で初の著書を上梓した。以後、映画を中心に、大衆文化、教育など、幅広い分野で執筆活動を展開。平明な表現の鋭い問題提起を含んだ評論と国際交流の功績が認められ、2019年には映画評論家として初めて文化功労者に選出された。“SATO TADAO”の名は世界に知られわたり、国外でも高い評価を受けている。2022年3月17日、胆のうがんのため91歳で死去。

佐藤忠男が開いたアジア映画の芳醇な世界の源泉を探るため、教え子が、韓国、南インドにカメラを抱え旅立つ



佐藤忠男、映画の旅

映画評論家・佐藤忠男、「映画」で世界を変えようとした男がいた——日本で初めて、ひとりの映画評論家に迫ったドキュメンタリーが誕生

日本を代表する映画評論家、佐藤忠男。独学で映画評論の道を拓き、60年にわたる批評人生で日本映画史を体系化した功績、そして後年、ライフワークとしてアジア映画を発掘し、日本に先駆的に紹介した功績から、日本におけるアジア映画研究の第一人者として知られる。アジアとの映画交流や後進の育成にも尽力し、韓国、フランス、モンゴル、ベトナムなどから勲章を授与した唯一無二の存在である。庶民の目線から多岐に論じ、150冊を超す著作を有する映画評論の巨人をアジアへと突き動かすものは果たして何だったのか？ 2022年に91歳で逝去した佐藤忠男が映画を通して夢見た世界を探る。

監督：寺崎みずほ

撮影：大久保千津奈（JSC） 録音：姫井信二

編集：遠山慎二 プロデューサー：川井田博幸

出演：佐藤忠男、秦早穂子、

イム・グォンテク、シャージ・N・カルンほか

製作・配給：グループ現代 デザイン：仁木順平

予告編制作：北川帯寛 WEB制作：古谷里美

2025年/日本/98分/カラー/DCP/ステレオ

©GROUP GENDAI FILMS CO., LTD.

協賛：中日映画社

協力：日本映画大学

助成：文芸春秋

クラウドファンディング：MOTION GALLERY


<https://satotadao-journey.com/>
[@journeysatotadao](https://www.instagram.com/journeysatotadao)
[@journeySATOTADA](https://www.instagram.com/journeySATOTADA)


11月1日〔土〕連日AM10時より
ロードショー！

特典付全国共通特別鑑賞券 ¥1,300（税込）発売中

『佐藤忠男、映画の旅』ブックフェア & パネル展も同時開催！

紀伊國屋書店新宿本店5階芸術売場（Tel. 03-3354-5704）にて

ブックフェア対象書籍の購入者にも特製しおりをプレゼント!!



新宿駅東南口階段下ル 甲州街道沿道コモショップ左入ル

新宿 K's cinema

03 (3352) 2471 www.ks-cinema.com

各回入替・全席指定席

